

花いっぱい運動！
栽培協力募集！

花いっぱい運動は、総合開・閉会式会場や競技場、駅、沿道などを花いっぱいにして、訪れるたくさんの人々をおもてなしする運動です。

町も、10月5日（土）に開催されるウオーキング大会で、町外から訪れる方々をたくさんの花でおもてなしをします。町民の皆さまにもぜひ、ご協力をお願いします。



対 象	町内在住の方・各行政区・団体など
募集期間	7月5日（金）～31日（水）
配 布 物	プランター、培養土、肥料、苗（※）、メッセージシール ※マリーゴールド、インパチェンス、ニチニチソウ、サルビアの4種類を用意しています。
配 布 数	150セット
条 件	ウオーキング大会前々日（10月3日）までに、利根町公民館へプランターを搬入できる方 ※大会終了後、希望者にはプランターを返却します。 その際にはお手数ですが、利根町公民館へ取りに来てください

申し込み方法

申し込み先にお問い合わせの上、
引取日、個数、苗の種類をお申し込みください。

問い合わせ先・申し込み先

いきいき茨城ゆめ国体利根町実行委員会事務局
（利根町教育委員会生涯学習課）
☎68-3263
✉syougaku@town.tone.lg.jp

温室効果ガスの排出削減
取り組み状況のお知らせ

町では「利根町温室効果ガス排出抑制実行計画（第4期）」に基づき、温室効果ガス（二酸化炭素など）の排出削減に取り組んでいます。この計画は、役場庁舎を始めとする町の公共施設において温室効果ガスの排出削減を目指し、地球温暖化対策の一翼を担うものです。これらの取り組み状況として、平成30年度の実績をお知らせいたします。

温室効果ガス排出量算出に係る活動量

区 分		H 27 (基準年)	H 30 (実績)	比較 (量)	比較 (%)
電気使用量 (kWh)		1,509,268	1,614,981	105,713	7.0
燃料 使用 量	ガソリン (ℓ)	25,916	30,190	4,274	16.5
	軽油 (ℓ)	3,381	3,507	126	3.7
	プロパンガス (kg)	11,892	11,768	△ 124	△ 1.0
	灯油 (ℓ)	41,142	26,796	△ 14,346	△ 34.9
水道使用量 (㎡)		26,330	27,438	1,108	4.2
コピー使用量 (枚)		945,294	786,170	△ 159,124	△ 16.8



温室効果ガス排出量

区 分	H27 （基準年）	H30 （実績）	比較 （量）	比較 （%）
温室効果ガス排出量（t）	792	952	160	20.2

取り組み実績および内容

区 分		目標値	H 30(実績)	取り組み内容
電気使用量 (kWh)		4 %削減	7.0%増加	昼休みの消灯、トイレ・給湯室などのこまめな消灯、OA 機器などの待機時電源の切断、職員のエレベーター利用自粛、エアコンの設定温度調整、晴天時窓側消灯など
燃料 使用 量	ガソリン (ℓ)		16.5%増加	低公害車導入、公用車の経済的な運転、適切な車輛整備など
	軽油 (ℓ)		3.7%増加	
	プロパンガス (kg)		1.0%削減	給湯機器の適切な温度設定、室温の適正管理など
	灯油 (ℓ)		34.9%削減	
水道使用量 (㎡)		3 %削減	4.2%増加	蛇口のこまめな開閉、漏水点検など
コピー使用量 (枚)		5 %削減	16.8%削減	コピー機の設定確認による誤操作防止、会議資料の削減、縮小版の活用など

問い合わせ先 役場環境対策課 ☎68-2211（内線251）

男女共同参画ってなあに？ Part 63

介護からみるワーク・ライフ・バランス

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは、「仕事」と「生活」（家事や育児、介護、趣味や自己啓発などの仕事以外の時間）との調和がとれていて、どちらも充実していることです。

これは、仕事と生活どちらを重視するか、ということではありません。「生活が充実すると、仕事も頑張れる」「仕事がうまくいけば、私生活も潤う」といった相乗効果を得ることです。



介護・看護を理由に離職・転職した人…男性 24,000 人・女性 75,100 人（2016 年 10 月～2017 年 9 月）※1

介護を機に仕事を辞めた理由（※2）
仕事と「手助・介護」の
両立が難しい職場だったため
男性 62.1% 女性 62.7%

介護を機に
仕事を辞めた時の就業継続の意向（※2）
「続けたかった」人の割合は
男性 56% 女性 55.7%

仕事と介護の不安感の具体的な内容（※2）
自分の仕事を
代わってくれる人がいないこと
35.8%

仕事と介護の両立促進のために必要な勤務先の支援（※3）
●残業をなくす／減らす仕組み…29.4%
●出社・退社時刻を自分の都合で変えられる仕組み…30.5%

仕事と介護の両立に必要な地域や社会による支援（※3）
●介護に関する情報の普及啓発…48%
●緊急時に対応できるショートステイの拡大…44.7%

※1 総務省「就業構造基本調査」（2017）※2 厚生労働省委託事業「平成 24 年度仕事と介護の両立に関する事態調査のための調査研究事業報告書」（2013）
※3 厚生労働省委託事業「仕事と介護の両立に関する事態調査のための調査研究」（2010）

高齢化がさらに進んでいく中で、
仕事と介護の両立は重要な課題！

介護・看護を理由に離職・転職した人は、1 年間で 9 万 9,100 人！
（2016 年 10 月～2017 年 9 月）

上記人数のうち、女性の割合が全体の 75.8% となり、また、町が昨年実施した「利根町男女共同参画推進プラン策定に向けた住民アンケート」の中でも、家庭における役割分担において、家族の看護・介護に関して、主に男性 1.5%、主に女性 27.8%、共同して分担 23.5% と「主に女性」が担っていると回答した人の割合が最も高くなっていました。

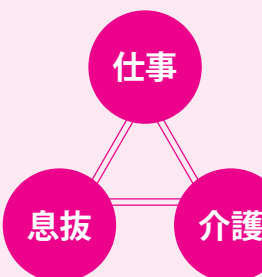
介護は、精神的にも肉体的にも経済的にも大きな負担がかかり、仕事を辞めたからといって 介護者の負担が楽になるとは限りません。
まずは、地域包括支援センターや社会福祉協議会などの相談窓口やケアマネジャーに相談してみましょう。



介護離職を防ぐためには！

自分が介護をする立場になった際に、慌てないよう、事前に介護保険や介護サービス、また介護に直面した際の相談先がどこになるのかを把握しておくことも大切です。

介護は、長期間におよぶ可能性があります。時には息抜きのために介護サービスを利用したり、家族にすべてを任せてしまうという選択肢もあります。一人で抱え込まず、周りによく相談し、協力しながら、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指しましょう。



利根町の高齢化率
42.54%
（平成 31 年 4 月現在）

男性が子育て、介護などに積極的に
参加するために必要なこと！

「夫婦や家族間での
コミュニケーションをよくはかること」

職場や家族とも十分にコミュニケーション
をとり、協力して仕事と介護との両立に取り
組みましょう。

※内閣府が 2016 年に実施した「男女共同参画に
関する世論調査」より